



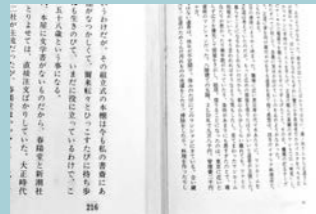
LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

大活字本、読書サポート用品のご案内

【大活字本】2階オレンジゾーン窓際に、文字のサイズを通常の3ミリから5ミリ程度に拡大した大活字本のコーナーを設置しています。小説のほか辞典類、地図帳などもありますのでご利用ください。



↑大活字本コーナー



↑大活字本(左側)

【拡大読書器】2階オレンジゾーン大活字本コーナー手前の席に、拡大読書器を設置しています。通常の大きさの文字を読むことが難しい方のために、画面上に文字を拡大して映し出すことができる機器です。利用方法についてはスタッフにお尋ねください。



【拡大鏡、リーディングトラッカー】

2階の図書総合カウンターには、拡大鏡や読みたい行に視点を集中させることができる読書サポート用品「リーディングトラッカー」のご用意があります。お気軽にお尋ねください。

←リーディングトラッカー

12月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

2F 「鉄道150年の軌跡」(～12/24)

今から150年前に新橋で鉄道が開業しました。大きな音と振動、そして煙と共に駆け抜けていく蒸気機関車は、明治時代の幕開けの象徴でした。鉄道がもたらした、社会や人々の生活の変化を眺めます。

3F 「《泉》からはじまる？現代アート」(～2023/2/17)

本展示では、一般的に難しいと思われがちな現代アートについて、誰もが親しむことができるように、現代アートに関連する資料を「まなぶ」、「しる」、「であう」といった、いくつかのカテゴリーに分けて紹介します。

3F 日比谷カレッジ 「近藤聡乃、ニューヨークでの創作と暮らし」関連展示(～12/18)

「図書館という空間で見る近藤聡乃、読む近藤聡乃」おっかば少女や水の中など、近藤聡乃さんの作品はどこかで見たことがあるような、ないような幻想的な不思議に満ちています。一方、身近な暮らしの中の気づきにも満ちています。それらはどこからやってきたのか？著書やつながりのある本が並びます。近藤さんが参加するDOMANI・明日展(於:国立新美術館)へも誘います。

展示 PICK UP

3F グリーンゾーン【哲学・歴史・自然科学】の本を集めたゾーン ～2023/1/13(金)

こどもへのまなざし



時代と共に暮らす環境が変化の中で、大人は子どもの生きていく場所を守り続けなければなりません。子どもへの「無関心」「過干渉」が社会問題になる今、大人になった私たちはどのようなまなざしを持って子どもたちを見守ればよいのでしょうか。未来を担う子どもたちの為に何が出来るか、全ての大人が考えるための展示です。



↑子どもの心や権利を守る本が並ぶコーナー



↑絵画や小説での子どもの描かれ方とは？

スタッフおすすめ本



『わたしは10歳、本を知らずに育ったの。—アジアの子どもたちに届けられた27万冊の本』

- 公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会 編著
- 合同出版
- 2017年



『遠い声をさがして 学校事故をめぐる〈同行者〉たちの記録』

- 石井 美保 著
- 岩波書店 ● 2022年

オススメします! 図書フロアスタッフの推薦本を紹介します。

『Mr.Children 道標の歌』

● 小貫 信昭 著 ● 水鈴社 ● 2020年



言わずと知れた日本を代表するバンド、Mr.Childrenの評伝。バンド結成から今日までの「軌跡」がメンバーや関係者によって語られるエピソードとともに綴られます。それは、時代の「足音」を聞きながら「名もなき詩」を歌い続けた「旅人」たちの「終わりなき旅」を追った「ありふれたラブストーリー」のような「ドキュメンタリー」です。

日比谷で彫刻散歩

SCULPTURES in HIBIYA

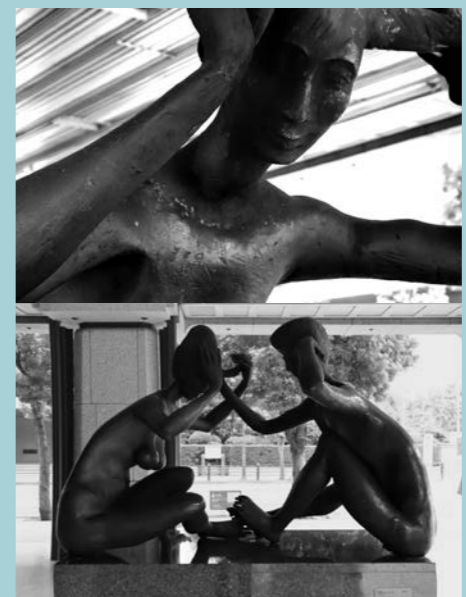
彫刻は、木・石・金属などの多様な素材から形取られ、立体的に表現された美術作品です。古代より様々な目的で作成された彫刻は、文明に彩りを添えてきました。鑑賞者にとっては、見る角度により表情が変わるのも魅力の一つでしょう。また彫刻には特別な室内や美術館に足を運ばなくて

も身近な場所で鑑賞できるものも存在します。今回、日比谷図書文化館の近くで鑑賞できる彫刻をご紹介します。ご紹介した彫刻以外にも日比谷界隈には様々な彫刻がありますので、日頃、風景として溶け込んでいる彫刻に改めて注目して日比谷で彫刻散歩を楽しんでみませんか。



《豊穡》1958年

作者 : 中川 為延
(なかがわ・ためのぶ、1904年～1967年)
設置場所: 千代田区日比谷公園 I-5
緑と水の市民カレッジ入口



《話をする人》1963年

作者 : ペリクレ・ファッチーニ
(Pericle Fazzini、1913年～1987年)
設置場所: 千代田区有楽町 I-1-1
日本生命日比谷ビル



《風と花》1982年

作者 : 桑原 巨守
(くわはら・ひろもり、1927年～1993年)
設置場所: 千代田区内幸町 2-2-2
富国生命ビル 中庭

calendar 開館時間: 平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2022年 12月							2023年 1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。最新情報は、ホームページ等をご確認ください。



access
〔都営地下鉄〕
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
●日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
〔東京メトロ〕
●丸ノ内線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。


▶▶▶入館の際は、手指消毒・検温、マスク着用のご協力をお願いいたします。

12・1月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。


12/1 (木) **新しい資本主義を考える**
 講師：吉川 洋(東京大学名誉教授)
 岸田文雄内閣は「新しい資本主義」掲げています。超高齢化が進むわが国では、格差が大きな問題となっていますが格差との闘いの中で誕生した社会保障の財政は行き詰まり、それを支える財政赤字が止まりません。日本経済そのものの地盤沈下も進んでいます。資本主義、格差、社会保障、財政赤字、経済成長について考えます。

■ 日時：12月1日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円




12/6 (火) **映画「本を贈る」上映会&トークショー ～街に本屋があるということ～**
 登壇者：篠原 哲雄(映画監督)、他ゲスト俳優(予定)
 2018年『花戦さ』で日本アカデミー賞優秀監督賞を受賞した篠原哲雄氏が制作した映画『本を贈る』。街から本屋をなくしたくない!という東京都書店商業組合の熱意に賛同し、初のYouTubeドラマに挑んだ9話を1本化した映画の上映&トークショーで、本が人を繋ぐハートウォーミングストーリーをお届けします。(共催：東京都書店商業組合・「本を贈る」上映会実行委員会)

■ 日時：12月6日(火) 19:00～21:00(18:30開場)
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円 ■ 映画上映時間：95分




12/9 (金) **東京駅 丸の内駅舎の魅力に迫る ～保存・復原工事完成から10年を記念して～**
 講師：佐々木 直樹(東京駅研究者)
 この10月、赤レンガの丸の内駅舎は保存・復原工事の完成から10年を迎えました。そして12月、東京駅は開業108周年を迎えます。誰もが知っている東京駅の、知られざるストーリー。とっておきの写真をご覧いただきながら、その歴史、文化、建物、人物、エピソード…と底知れない魅力に迫ります。

■ 日時：12月9日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円



12/11 (日) **古書で紐解く近現代史セミナー 第42回 陸蒸気を海に通せ！ 大隈重信と日本の鉄道開業**
 講師：芳野 貴典(佐賀県立佐賀城本丸歴史館 学芸員)
 1872(明治5)年、新橋～横浜間に日本初の鉄道が開通しました。我が国未曾有の大事業とされた鉄道建設を主導したのは佐賀藩出身の大隈重信でした。維新政府で財政と外交に手腕を発揮する開明派官僚だった大隈が、根強い反対論に屈することなく鉄道事業に邁進した背景と同志たちとの奮闘に迫ります。


■ 日時：12月11日(日) 14:00～15:30(13:30開場)
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民・学生500円)
 ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



東京高輪海岸蒸気車鉄道園 (佐賀県立佐賀城本丸歴史館蔵)

12/13 (火) **国際法がわかると世界がわかる ―ロシアによるウクライナ侵攻と国際法**
 講師：岩月 直樹(立教大学法学部教授)
 収束の兆しどころか、さらなる展開を見せるロシアのウクライナ軍事侵攻。国連安全保障理事会の常任理事国によるあからさまな侵略行為は、国連憲章に基づく第二次世界大戦後の国際秩序を大きく揺るがすものです。この侵攻が、現在の、そして将来の国際秩序に対してもつ意味と影響を、国際法の観点から読み解きます。

■ 日時：12月13日(火) 19:00～20:30(18:30開場)
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円




1/7 (土) **千代田区民講座 メジャーリーグに学ぶ 一必勝のビジネス成功術― 勝つための組織と人の活かし方**
 講師：タック川本(国際ビジネス&スポーツアナリスト)
 2002年、創立42年目にしてワールドチャンピオンの快挙を成し遂げたロサンゼルス・エンゼルスフロンに在籍した実務家で、ビジネス&スポーツアナリストとして幅広く活動している経験を踏まえ、メジャーリーグの球団経営の実態を実例に、経営を革新させるための考え方と手法、企業を活性化させる人と組織についてお話しします。(主催：NPO法人 神田雑学大学、共催：日比谷図書文化館)

■ 日時：1月7日(土) 14:00～15:30(13:30開場)
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■ 定員：60名 ■ 参加費：無料
 ※千代田区民は11月25日(金)から、区民以外は12月2日(金)から受付開始。

1/11 (水) **アートのある生活 ～マイアートの見つけ方、買い方**
 講師：山本 冬彦(アート・ソムリエ)
 家で過ごす日々が増える今、改めてアートが注目を集めています。「アートを買う」という行為は決して敷居の高いものでなく、ビジネスとの共通点も多く、作家を支援することにもつながります。自分好みのアートの見つけ方、買い方を学び、身近にアートのある生活の一步を踏み出してみませんか。

■ 日時：1月11日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
 ■ 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■ 定員：40名 ■ 参加費：1000円




1/15 (日)他 **日比谷オペラ塾 「オペラ・あ・ら・かると」(全3回)**
 2023年は、ヴェルディ生誕210年。そこで1月は、「名画が語るヴェルディ・オペラ」を、2月はプッチーニ・オペラのヒロインたちの魅力を、3月はダ・ポンテ三部作で有名なロレンツォ・ダ・ポンテについて解説します。(主催：フェニーチェ劇場友の会 共催：日比谷図書文化館)

■ 日時：
 1月15日(日) 14:00～15:30(13:30開場) 「名画が語るヴェルディ・オペラ」・講師：加藤 浩子(音楽評論家)
 2月19日(日) 14:00～15:30(13:30開場) 「プッチーニのヒロインたち」・講師：井内 美香(オペラ・キュレーター)
 3月21日(火・祝) 14:00～15:30(13:30開場) 「モーツァルトの親友ダ・ポンテ」・講師：辻 昌宏(明治大学教授)

■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■ 定員：各回60名 ■ 参加費：各回1500円

1/19 (木) **江戸歴史講座 第76回 疫病と「まじない絵」の世界**
 講師：畑中 章宏(民俗学者)
 流行病(疫病)に対する恐怖は、まだ医学が発達していなかった時代にははかり知れないものでした。近世の日本で痘瘡や麻疹、コレラが蔓延すると、人々はまじないに頼るしかなかったのです。疫病除けの「痘瘡絵」や「はしか絵」に込められた、人々の苦心やユーモアを読み解いていきます。

■ 日時：1月19日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■ 定員：200名
 ■ 参加費：1000円(千代田区民 500円)



「鎮西八郎為朝 痘瘡神」 (東京都立中央図書館 特別文庫室)


1/20 (金) **現代短歌はこんなにおもしろい**
 講師：東 直子(歌人、作家)
 近年、ますます人気が高まっている短歌の世界に触れてみませんか。基本的な仕組みを踏まえて作品をご紹介します。現代短歌の魅力に迫ります。また、最近の若手歌人と現代短歌の動向や、講師自身が短歌と出会い、人生にどういった影響があったのかをお話しします。

■ 日時：1月20日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円



1/25 (水) **池波正太郎生誕100年 「池波正太郎の思い出」**
 講師：菊池 夏樹(高松市・菊池寛記念館名誉館長、池波正太郎の若い友人K)
 2023年は時代小説の大家・池波正太郎の生誕100年に当たります。本講演では代表作『鬼平犯科帳』シリーズを担当し、生前の池波正太郎と親交が深かった菊池夏樹氏が、作家・池波正太郎との思い出をお話しします。菊池氏だけが知っているとっておきの逸話など、初披露のお話をご期待ください。

■ 日時：1月25日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■ 定員：200名
 ■ 参加費：1000円



1/27 (金) **千代田区内ミュージアム連携企画 展覧会への入口講座 Vol.35 展覧会を先取り！国芳門下の2大ライバル「芳幾・芳年」の魅力に迫る！**
 講師：野口 玲一(三菱一号館美術館学芸員)
 三菱一号館美術館にて2023年2月25日から4月9日に開催する「芳幾・芳年―国芳門下の2大ライバル」の見どころを、開幕に先駆けて担当学芸員の野口玲一が語ります。国芳門下の兄弟弟子として活躍した二人が、時代が明治に変わり、浮世絵衰退の時代をどのように生き、制作したのかを検証します。

■ 日時：1月27日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■ 定員：200名
 ■ 参加費：1000円(千代田区民 500円) ※12月2日(金)から受付開始



12/28(水) まで **特別研究室企画展示 内田嘉吉文庫に見る 鉄道のはじまりと 南満洲鉄道・朝鮮鉄道・台湾鉄道・台湾鉄道の旅**

日本の鉄道の開業当時の資料や日本統治期の南満洲鉄道・朝鮮鉄道・台湾鉄道の沿線案内、駅舎、路線図などから、明治～昭和初期の鉄道の旅がどのようなものであったかをパネルと内田嘉吉文庫の蔵書で紹介いたします。東京駅の姉妹駅である台湾・新竹駅の建築模型も展示します。

新竹駅(模型制作：今村仁美 / アトリエ イマージュ)

● 開室時間：平日 10:00～20:00、土曜 10:00～18:00、日曜・祝日 10:00～16:00

● 会場：4階特別研究室

● 協力(建築模型)：今村仁美(アトリエ イマージュ)

入場無料

I N F O R M A T I O N

システムの更新に伴う休館などのお知らせ
 千代田区立図書館は、図書館システムを更新するため、各図書館(室)を休館するとともに、サービスを一時的に休止します。

休館日：2023年3月1日(水)～3月12日(日)

▶詳細については、千代田区立図書館ホームページでご確認ください。

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

― 第1回 ―
ちよびた落語会

千代田図書館が落語会を開催します！
 出演は、春風亭昇太師匠の6番弟子、春風亭昇羊さんと、同じく落語芸術協会所属の笑福亭茶光さん、三遊亭花金さんの3名です。どんな「噺」が出てくるか、お楽しみに！

◆ 開催日時：2022年12月15日(木) 開演 18:30
 ◆ 会場：千代田区役所1階 区民ホール(千代田図書館が入っている建物の1階)
 ◆ 定員：60名(事前申込制・先着順、全席自由)
 ◆ 対象：小学生以上(未就学児入場不可) ◆ 参加費：一律1,000円(税込)
 ◆ 申込方法：11月28日(月)午前10時から受付。図書館ホームページのお申し込みフォームまたは電話(03-5211-4290/平日10時～18時)にて。

(写真左から) 春風亭昇羊、笑福亭茶光、三遊亭花金 ▶

